400–2500 MHz RFパワーアンプ、帯域別最小300/320 W、RS-485

出力電力は帯域別に規定され、400–500 MHzでは最小300 W、500–2500 MHzでは最小320 Wです。標準利得は55 dB、標準利得平坦度は±2.5 dBです。

機械図に示す本体寸法は360 × 350 × 35 mmで、標準電流45 Aの試験条件は300 W出力です。SMA入力、N出力、RS-485制御と開放・短絡検出を備えます。



電気仕様

+28.0VDC; 25°C; 50Ω; 0dBm

項目	記号	最小値	代表値	最大値	単位
動作周波数	BW	400	-	2500	MHz
RF出力電力 (400–500 MHz)	Pout	300	-	-	W
飽和 RF 出力電力 (500–2500 MHz)	Pout	320	-	-	W
電力利得	Gp	-	55	-	dB
電力利得平坦度	Gp	-	±2.5	-	dB
VSWR	S11	-	-	2	-
300 W 時の高調波	H	-	-10	-	dBc
スプリアス信号	Spur	-	-60	-	dBc
入出力インピーダンス	Impedance	-	50	-	Ω
動作電圧	VDC	24	28	32	VDC
電力付加効率	Eff	-	28	-	%
Pout = 300 W 時の消費電流	IDD	-	45	-	A

監視および保護

項目	仕様
監視	電圧、電流、温度、開放・短絡検出
出力 VSWR 保護	VSWR = 3 → 正常; 開放回路保護 → 停止
過温度保護	85 °C → 停止
電源保護	(VDC >32 V) または (VDC <24 V) または 逆極性 → 停止

絶対最大定格

項目	定格
損傷を生じない RF 入力電力	+10 dBm 最大
Pout = 300 W 時の負荷 VSWR	∞; 全負荷位相・振幅、連続
熱過負荷	85 °C → 停止 (最大)

環境仕様

記載の環境条件は設計目標値です。ご使用の案件に適用される条件を確認してください。

項目	最小値	代表値	最大値	単位
動作温度	-20	-	55	°C
保存温度 [1]	-25	-	65	°C
相対湿度（結露なし）	-	-	95	%

[1] 保存温度

DC および制御インターフェース

ピン番号	説明	仕様
1	1 — イネーブル	ハイレベル → 有効; ローレベル → 無効
2	2 — グラウンド	グラウンド
3	3 — 485A	RS-485 シリアル通信
4	4 — 485B	RS-485 シリアル通信
5	5 — 未接続	未接続
6	6 — 未接続	未接続
7	7 — 過電流表示	-
8	8 — VSWR警報	-
9	9 — 温度警報	-

電源ピン定義

ピン番号	説明	仕様
1	1 — 電源正極	電源正極; 合計電流: 45 A
2	2 — 電源正極	電源正極
3	3 — グラウンド	電源負極
4	4 — グラウンド	電源負極
5	5 — 未接続	未接続

機械仕様

原本の機械図面から抜粋した端面図です。完全な外形図や確認済みの配線図ではありません。 原本の機械仕様表は Hybrid D-Sub 4、電源ピンの節は DB5 と5ピンを記載しています。コネクタ形式とピン数は確認が必要です。 機械仕様表は制御コネクタをD-Sub 15、オスと記載し、制御インターフェースの見出しはJ30J-9ZKです。両者が同じインターフェースを指すかは資料から確定できません。正確なコネクタ型式、ピン数、配線の確認が必要です。記載されたピン機能の各行は原資料の情報として保持しています。

項目	値	単位
外形寸法	360 × 350 × 35 mm	mm
質量	12[26.4] kg [lb] (標準)	kg [lb]
RF 入力コネクタ	SMA, メス	-
RF 出力コネクタ	N, メス	-

外形寸法図



現在の発行記録 · 1.5 · 2026-11-11. 仕様表の内容を更新しました。 置き換え対象の改訂版 1.4.

文書に関する注意

仕様は製品の更新に伴い改訂される場合があります。設計を確定する前に、現行の文書改訂版と製品固有の要件を LCRF に確認してください。供給構成は承認済みの見積書および注文書類で定義されます。